

八王子社 屋根葺替・部分修理

1.概要

八王子社は本殿の西側、宝蔵の南側瑞垣との間に南面して建つ。一間社流造り、銅板葺である。祭神は五男三女神が祀られている。

建築年代は明和 7 年（1770）であり、内部北側壁面に上棟棟札が掛けられていた。

詳しい修理履歴は分かっていないが、嘉永 3 年本殿建築時に塗り替え、昭和 10 年瑞垣建築に伴い、北よりの現状位置に曳家した。昭和 34 年に塗り替え、縁廻の修理。昭和 49 年に檜皮葺きから銅板に葺き替えた。

2.修理方針 【屋根葺替・部分修理】

破損状況は屋根銅板の劣化が認められ、縁廻りの破損が大きく、高欄架木の折損等が見られる。外部の塗装彩色は劣化が著しい。解体により当初の塗装が発見されたので、当初の仕様で修理予定。

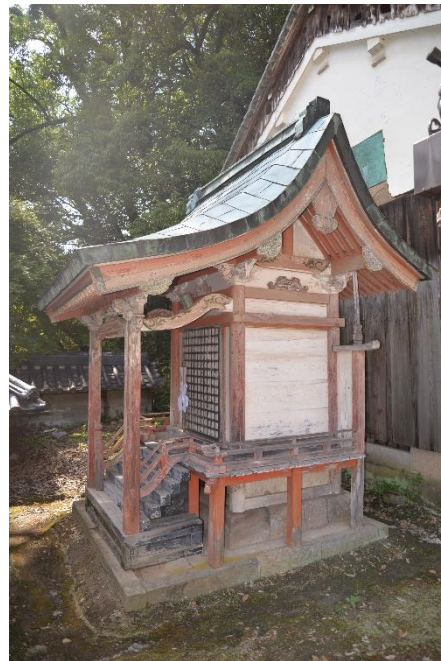


図1 修理前南東面

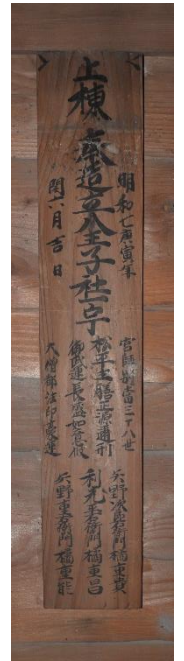


図2 上棟棟札

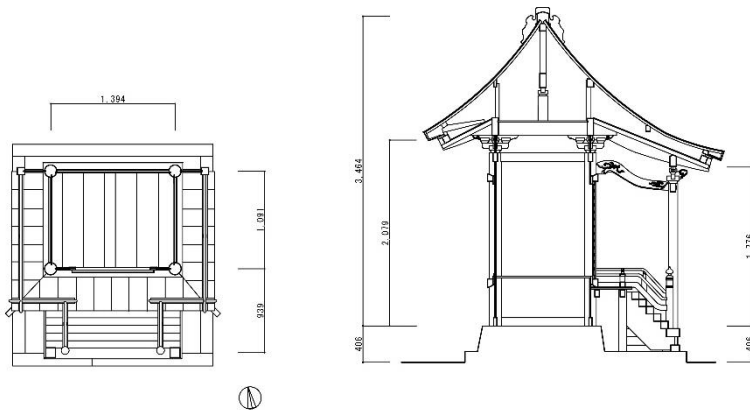


図4 修理前平面図・梁間断面図



図3 柱の長押下に残っていた当初の丹塗

3.解体工程



① 野地解体完了



② 縁廻解体完了